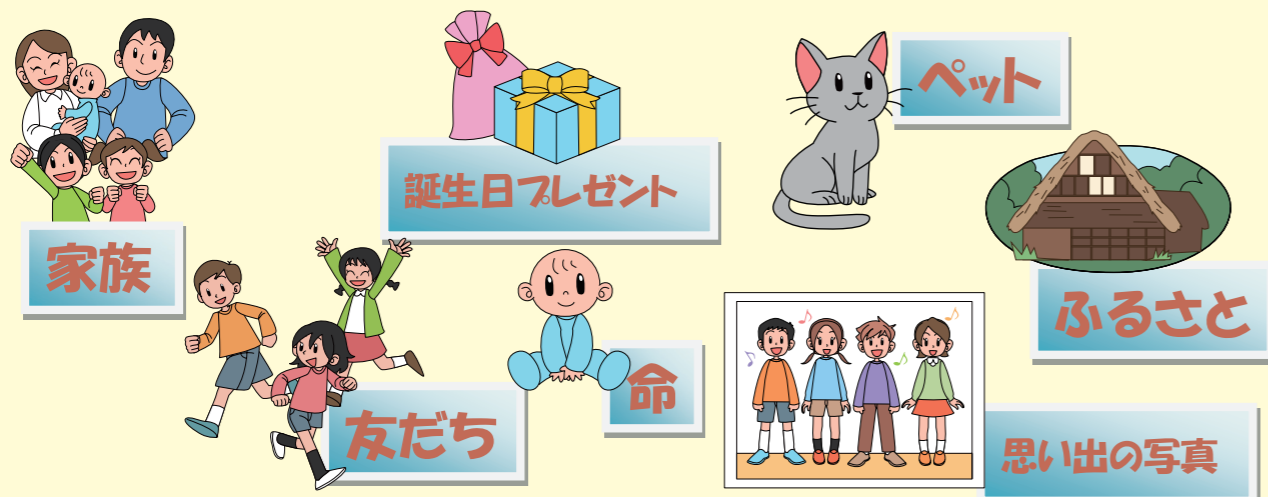


## あなたにとって大切なものは？



「自分が大切にしているものを、まわりの人が大切にしてくれたら、  
あなたはどんな気持ちになりますか？」

「自分が大切にしているものを、まわりの人が大切にしてくれなかったら、  
どんな気持ちに…」

## インターネットの中でも大切にしたい人の心

インターネットを使うと、たくさんのじょうほうを、すぐに見ることができます。  
そのじょうほうの中には、こ人でつくった作品などもふくまれていることがあります。



「ありがとう」「元気ですか」「これすごいね」「とってもうれしかったよ」



「悲しい…」「そんなつもりじゃ…」「こまったな」

作品やじょうほうは、勝手に見たり、使ったりしてもよいものなのでしょうか。  
自分のものと他人のものの大切さにちがいはあるのでしょうか。

## クラスのマーク「ピーチくん」



さやかさんとみかさんは、席がとなりどうしの仲良しです。  
ある日のじゅ業中、消しゴムを忘れたのに気づいたさやかさんは、みかさんに消しゴムを借りました。その時、みかさんが、ノートのはしに小さなイラストをかいているのが目に入りました。

みかさんに、それは何かとたずねると、  
「わたしが作った、もものキャラクターで『ピーチくん』という名前なの」と答え、とても気に入っているようでした。  
この日、みかさんはかぜがみでした。



その日の帰りの会で、先生が  
「4年生は、運動会へ向けてクラスのマークを各学級で作ることになったので、そのデザインを明日までにかいてくるように」と、つげました。

その夜、さやかさんはクラスのマークのデザインを考えましたが、いいデザインが思いつきませんでした。そこで、みかさんがかいていた「ピーチくん」を思い出し、そのデザインを使うことにしました。

そのことは、明日になってみかさんにことわればよいと思っていました。



ところが翌日、みかさんはかぜで欠席しており、つげる間もなくクラスのマークのせん出が始まりました。そして、あれよあれよという間にさやかさんのかいた「ピーチくん」が代表に選ばれてしまいました。

「自分のオリジナルではない」ことを言い出せぬままクラスメイトからしゅくふくされるさやかさん。

よく日、登校したみかさんは知らぬ間に「ピーチくん」がクラスのマークになっていることを知り、泣き出してしまいました。

それを見たさやかさんは、立ちすくんでしまいました。

# 調べたことをまとめる前に

## ちょ作権について学ぼう

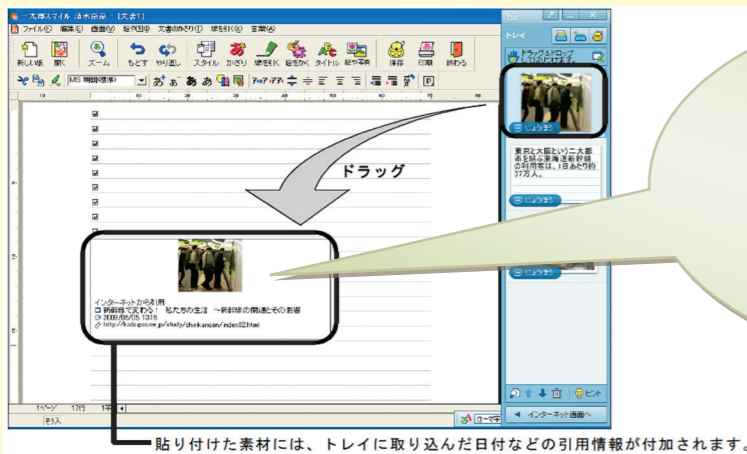
文章、絵、写真、曲、本などの作品をつくった人が持つけりりで、自分の作品を勝手に使われないけりりです。どこかにとどけ出るひつようはなく、作ると同時に生まれるものです。きよかなしに人の作品を勝手にコピーしたり、まねして使ってはいけません。これは、世界中どこでも同じです。

参考 『コピーライト・ワールド』（社団法人著作権情報センター）

他人の作品を全く使えないというわけではありません。学校のじゅ業では、他人の作品でも調べたり発表したりするために使うことができます。これを引用（いんよう）といいます。ただし、そのためにはいくつかの決められたルールを守らなければいけません。

## 引用のルール パート1（小学生）

- ①自分が書いたところと、他人が書いたところを、『 』などをつけて区べつします。
- ②自分の作品の中で、テレビなどのキャラクターをまねしてもよいが、作品てんなどで発表することはできません。
- ③ほかの人がとった写真や人が写っている写真をのせる場合は、かならずその人にきよかをもらいます。



パソコン教室に入っているジャストスマイルの「一太郎スマイル」や「はっぴょう名人」を使うと、コピーした写真や文のサイト名が自動で記入されます。

出典 ジャストシステムのホームページ

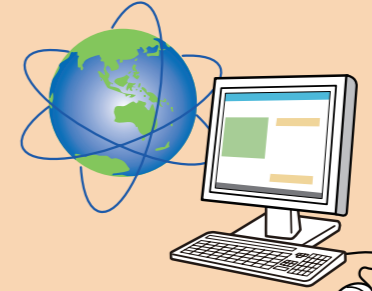
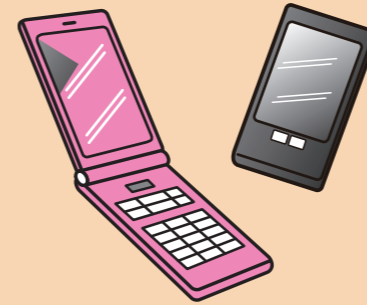
## ちょ作権について学ぶことができるサイト

- 「初めて学ぶちょ作権（文化庁）」 [http://www.bunka.go.jp/chosakuken/hakase/hajimete\\_1/index.html](http://www.bunka.go.jp/chosakuken/hakase/hajimete_1/index.html)
- 「楽しく学ぼうみんなのちょ作権（文化庁）」 <http://chosakuken.bunka.go.jp/tanoshiku/>

# そのじょうほうは大じょう夫？

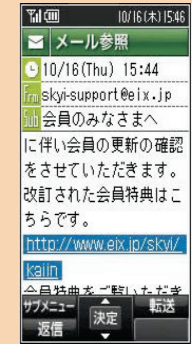
## あなたのじょうほう 本当に安全かな？

けいたい電話



インターネット

メール



### 色々な手だんでじょうほうを手に入れることができますが...

### こんなことが起こるかも

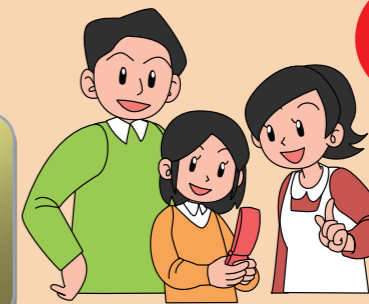
知らない人から「むりようで登ろくできます」や「〇〇が当たりました！」などと書いてあるメールが送られてきました。そのメールに反のうして登ろくしたり、返しんしたりしてしまうと、高がくのせいきゆう書がとどいたり、たくさんのめいわくメールがとどいたり、大へんなことにまきこまれることがあります。



### 身におぼえのないじょうほうを手に入れ、ふ安になったら



一人でなやんではいけません



身近な大人と相談しましょう

インターネットの中でいやがらせをうけた時なども、かならず身近な大人に相談しましょう。

知識を身につける